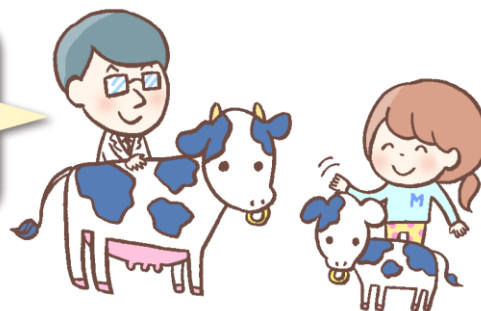


牛乳の気になるウワサをスッキリ解決！**ウワサ7****市販の牛乳を子牛が飲むと死ぬ**

牛乳が原因で死ぬ、なんてことはありません。
子牛は牛乳を飲んですくすく育ちます。



市販の牛乳を子牛に飲ませてもまったく安全です。

● 牛乳が原因で死ぬことは決してない

市販の牛乳を、母牛から授乳するのと同じように温めて飲ませても、子牛の健康にはまったく影響はありません。実際に、生後4～18日の子牛に市販牛乳を4～10日間、1日4リットル(2リットル×2回)与えましたが、健康状態にまったく問題はなく、その後も順調に生育しました。

● 生まれた直後の子牛には母牛の「初乳」を与える

上記とは直接関係のない話ですが、生まれた直後の子牛が飲む乳は「初乳」といって特別なものです。

子牛が生まれて初めて飲む「お乳」は、通常の母乳とは成分の違う「初乳」を与えなければなりません。なぜなら、子牛は胎児のときに母親から免疫たんぱく質を受け取れないからです。ちなみに人間は、胎児のときに胎盤を通じて免疫たんぱく質を受け取ってから生まれてきます。

母牛の分娩直後～5日間の母乳は「初期初乳」といい、免疫たんぱく質を大量に含んでいます。生まれたばかりの子牛にはまずこれを与え、免疫力をつけて感染症などから守る必要があります。

参考資料

- ・ NRC 乳牛飼養標準 2001 年、第 7 版、デーリィ・ジャパン社、221.
- ・ ホルスタイン種哺乳牛への市販牛乳給与試験、独立行政法人家畜改良センター、2006.